

(別紙)

令和6年9月定例会議 一般質問

1 番議員 清水 友紀

### 自然環境の良さに重きを置いた都市計画の推進を

今年度は次期開成町総合計画の策定に伴い、環境基本計画や都市計画マスタープラン等も見直しがされる重要な年度である。例えば今後の都市計画上では、足柄紫水大橋と国道255号線がつながり、また駅前土地区画整理事業は目に見えるかたちで進む予定である。

現行の都市計画マスタープランには、開成町民がまちづくりに何を望むか、住み続けたい理由は、などのアンケート結果も記載されている。町民が本町の自然環境を誇りに思い、その保全がある上での生活基盤の整備、居心地の良さを望んでいるということが、全体を通して見て取れる。

そこで、都市計画を進めるにあたり、自然環境を重んじる姿勢を前面に打ち出すことが、町内外への説得力や期待感を増し、よりスピーディーな計画実現の後押しになると考え、以下の項目を問う。

1. 今後10年における本町の人口の増減をどう見込んでいるか。
2. 足柄紫水大橋と国道255号線がつながることで本町に及ぶ影響をどう考えるか。
3. 都市計画上、社会情勢等の変化に伴い生じている課題は。
4. 駅前やその周辺に自然保全や環境施策の取り組みを重点的に表す考えは。